

# 読書ボランティア紹介

## 福島子どもの本をひろめる会

子ども読書推進のために

### 福島子どもの本をひろめる会 (福島市)

令和元年7月19日(金)訪問

**創設年月**

昭和55年

**活動場所**

福島市中央学習センターなど

**活動内容**

児童書の学習会、  
新聞紙上でのおすすめの本紹介、  
講演会の開催等  
(絵本部会、新刊書部会、  
研究・幼な物語部会に分かれての活動)



「福島子どもの本をひろめる会」は、来年度で発足40年目を迎える団体です。「子どもたちに良い本を届けたい」という思いのもと、部会ごとに毎月学習会を行っています。

訪問当日は、新刊書部会が行われていました。新刊書部会では、「こどもの本」という新刊情報誌に掲載されている新刊書などを会員が分担して読み(月平均50冊ほど)、部会で本の内容を紹介し合います。これらの本の中から「おすすめの本」を決定し、毎週日曜日に民友新聞の「みんなのジュニア情報局」の中で紹介しています。昨年度は、絵本26冊と児童向けの読み物24冊を民友新聞紙上で紹介しました。この活動は、30年以上前から行われているそうです。

他に、絵本部会では様々なジャンルの絵本を楽しんだり、研究・幼な物語部会ではテーマを決めて、一歩踏み込んだ話し合いをしています。



福島民友新聞 令和元年6月30日掲載より



また、子どもの本をひろめる会では、年に1~2回講演会を行っています。これまでに、上橋菜穂子さん、富安陽子さん、小林豊さんなどがご講演されました。

会員の中には、それぞれの地区の「お話ボランティア」として活動している方も多いそうです。「ひろめる会の活動は『人生の恵み』です。」という会員の方の言葉がとても印象的でした。

